

学校法人星置学園 いなほガーデン星の子幼稚園
学校関係者評価

2021年3月
評価者 酒井義信

1. 本園の教育理念・目標

<p>《教育理念》</p> <p>元気な子 元気で明るく、たくましく、生き生き活動できる子</p> <p>つよい子 やさしい心を持ち、はい、ありがとう、すみません、わたしがしますと言える心のつよい子</p> <p>創造する子 よく見、よく聞き、よく話し、個性豊かにのびのび表現、創造する子</p> <p>《教育目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる環境に能動的に働きかける事ができる心と体を育てる。 ・集団生活を通し、他者の自由を認める事ができる心を育てる。 ・自己目標に向かっていける心を育て、自己肯定感を育てる。 ・リスクという危険を体験し、危険予知能力を高める。
--

2. 本年度、重点的に取り組む課題

1年を通して、一人一人の遊びを探求し、環境を整える

3. 評価項目の達成及び取組状況

- A: 十分達成されている(おおむね80%以上)
- B: ほぼ達成されている(60%~80%くらい)
- C: 取り組まれているが成果が十分でない(40%~60%くらい)
- D: 取り組みが不十分である(40%以下)

評価項目	結果	理由
園の保育を理解し、職員が仕事しやすいように心がけている	A	運営法人が変わり、二つの園に所属していた教員によるスタートの年であった。 お互いの園の保育やシステムを理解しながら、意思疎通を図り協力して新しい園としての保育をつくり上げていた。
保護者のニーズと把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	B	運営法人が替わり運営に当然変化が生じる中、保護者からの質問や要望に対して教職員は真摯に対応していた。その結果、運営・保育の変化を保護者が理解し、年度の初めに比べ質問・要望は少なくなっていた。
職務向上の為に必要なスキルを身につけ向上している	B	コロナ禍で研修会が減った中で、実施された研修会に参加するとともに、自己研修で参考書を読み、園内研修での学びを大切にしてい保育の向上に努めていた。園内研修で「遊び保育」について学び、それを活かして保育を展開した結果、子どもの自主的に遊ぶ姿が目立つようになった。
事務以外の職務に対しても積極的に動き、よりよい環境をつくる	A	教師同士や職員との対話をお互いが図り、新しい園としてスムーズな保育が行われるように一人一人が努力していた。担任、副担任の協力体制が良好で、子どもが素材や用具を使いやすいようにと協力して教室環境を整えたりしていた。
安全管理(施設、設備、通園など)を日々行っていたか?	A	教職員一人一人が子どもの安全に気を配り活動しており、教室の整頓、施設・設備の点検、通園や園外活動の際の安全確認に努めていた。

4. 2020年度の感想など

コロナ禍で今までと違った対応が求められた1年間でした。日常の感染予防、行事での対応、保護者の対応、と大変だったと思います。一人ひとりがしっかり対応して、大きな混乱もなく保育が行えたことは、教職員一同の努力によってだと考えます。

また、設定中心の保育から遊び中心の保育を進めるために、遊び環境を整えてコーナー遊びを中心に、子どもが主体的に遊ぶ保育を推進してきました。園の運営、保育の変更に教職員が協力して意欲的に取り組んできたことは高く評価できると思います。

5. 2021年度に向けて要望など

今年度も、新しい園のよき文化をつくるために教職員同士のコミュニケーションが大切になると思います。そのための場や時間を生み出す努力をさらに行っていただきたいと思います。

また、新型コロナの感染状況によっては、今年度も感染予防が大きな柱となることが予想されます。保育に加え大変な作業が増えることと思いますが、子どもたちの安全のため頑張ってくださいと思います。